

日吉津村



日吉津村 村長
石 操

それぞれの地域活動を一つの流域の活動としてまとめていく、そしてその流域をアピールしていくことは大事じゃないかなと思います。日野川流域で、これは絶対自信があるぞというものをつくり上げて活動につながればよいと思いますし、流域で一つの憲章ができるということだと、下流域、上流域でのそれぞれの活動に関しての情報や苦勞を知っていただくこともでき、日野川流域全体としての思いが伝わっていくのかなと思っております。ごみの不法投棄などの問題にも意識を共通に育てていくという意味で、流域全体の憲章のような取り組みは必要かなと感じます。

日南町



日南町 副町長
狩野 宏

とにかく水は上から下へ流れる、人も結果的に山の方から里の方に移住があるというような状況になっていますが、そういう中でも下流からも上流を見ていただくというような機会ができ、そういう意識を皆さんに持ってもらったということについては非常にありがたいことだと思っております。それがさらに共通の合い言葉の中で意識共有できるということは非常によいことだと思しますので、ぜひ取り組みを進めていただければと思います。取り組む上では、日野川からの恵み、恵みへの感謝。その恵みに対する恩返し、そして偉大さを誇っていくという思いが柱なのではないかという感じがしております。

米子市



米子市企画部次長
山本 茂樹

皆さんが一つの目標に向かって動けるような、何かそういう大きなものがやはり必要だろうと思います。そういう意味で、憲章というお話は大変いいお話ですので、多数の民間の方が参加している日野川の源流と流域を守る会、行政の集まりである日野川への想いを語る会が中心になって憲章の制定に向けた働きをしていくべきではなからうかと思いません。

伯耆町



伯耆町教育長
圓山 湧一

伯耆町は大山山ろくを抱え、水の保全ということも大変大きな課題になっておるところでございます。また観光という面から見ても、水もきれいで山もきれいだというようなことで、このような憲章の制定ということをも、みんなが共通理解をしていくということがとても大事なことだと思っております。江府町の鏡ヶ成は自然保護憲章が制定されたということでこれも大変意義のあることでしたし、この日野川流域も憲章のもとで、広くみんながそれを支えていくということになれば大変意義のあることだと思っております。

日野川河川事務所



日野川河川事務所 所長
森川 数美

行政組織だけで作り上げるのではなく、流域で活動をしておられる様々な団体の皆さんと意見交換をしつつ作り上げる事ができればいいのではないかと考えております。行政が作りあげてしまうと、住民の皆さんの活発な活動に繋がらないと思います。

行政あるいは日野川への想いを語る会で支援を行い、いずれは皆さんの意識が高まってNPO日野川なんていうものに発展していけば非常にいいのではないかと気がしております。